データ分析演習　事前調査ペーパー

【学籍番号】　　　【所属団体】　　　　　　【氏名】

【調査団体名】（都道府県）　　　　　　（市区町村）

|  |  |
| --- | --- |
| 調査項目 | 調査結果 |
| １　人口 | 人（　　年　　月　　日時点） |
| ２　生産（付加価値額）  ※順位は、付加価値額（１人当たり）の全国順位を記載。 | 【第１次産業】　　　億円（順位　位）  【第２次産業】　　　億円（順位　位）  【第３次産業】　　　億円（順位　位） |
| ３　産業構造  ※中分類の内容を記載。 | 【企業数（企業単位）】  １位　　　業（　　社）  ２位　　　業（　　社）  【従業者数（事業所単位）】  １位　　　業（　　人）  ２位　　　業（　　人）  【売上高（企業単位）】  １位　　　業（　　百万円）  ２位　　　業（　　百万円）  【事業所数（事業所単位）】  １位　　　業（　　事業所）  ２位　　　業（　　事業所） |
| ４　売上高ランキング  ※調査団体内の企業について、売上高が大きい順に記載。  ※括弧内には、業種等の事業概要及び売上高を記載。 | （出典：　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  １位　○○(株)（　　/　　億円）  ２位　　　　　（　　/　　億円）  ３位　　　　　（　　/　　億円）  ４位　　　　　（　　/　　億円）  ５位　　　　　（　　/　　億円）  ６位　　　　　（　　/　　億円）  ７位　　　　　（　　/　　億円）  ８位　　　　　（　　/　　億円）  ９位　　　　　（　　/　　億円）  10位　　　　　（　　/　　億円） |

|  |  |
| --- | --- |
| ５　産業振興計画  ※調査団体の産業振興計画について、最新の作成年度・計画のポイント・気付いた点等を自由記述してください。 |  |
| ６　目標市区町村（候補） |  |
| ７　目標市区町村を選んだ理由 |  |

【留意事項】

・調査団体は、所属する都道府県内の１市区町村（市区町村に所属する場合には、当該市区町村が所在する都道府県内の１市区町村）とする。

・１は、最新の国勢調査に基づく人口又は当該年の1月1日現在の推計人口を記載すること。

・２、３はRESAS（https://resas.go.jp/）を参照し、２は2018年、３は2016年の数値を記載すること。

　【RESASの操作方法】

　　⑴　生産（付加価値額）

　　　①ヘッダーの「メインメニュー」→「地域経済循環マップ」→「地域経済循環図」

　　　②画面右側の緑色メニュー内（最上部）にて、派遣元団体を選択

　　　　※メニュー内の「表示レベルを指定する」において、「市区町村単位表示する」を選択した上で派遣元団体を選択のこと。

　　　③表示される地域経済循環図中「生産（付加価値額）」のグラフ下端の「詳細を見る」→付加価値額（合計額）及び付加価値額（１人当たり）の順位を確認

　　⑵　産業構造

　　　①ヘッダーの「メインメニュー」→「産業構造マップ」→「全産業」→「全産業の構造」

　　　②画面右側の緑色メニュー内（最上部）にて、派遣元団体を選択

　　　　※メニュー内の「表示レベルを指定する」において、「市区町村単位表示する」を選択した上で派遣元団体を選択のこと。

　　　③緑色メニュー内の「表示分類を指定する」→「中分類で見る」を選択

　　　④企業数、従業者数等の選択は、緑色メニュー内の「表示内容を指定する」から該当の項目を選択

　　　⑤表示されるグラフから、１位及び２位の業種及び数値を確認（グラフは左上を１位として順に表示されています。）

・４は、インターネット、産業振興所管部署への確認等により調べること。

　全国法人リストHP　https://houjin.jp/

　※上記情報は、2019年（令和元年）11月現在の内容のため、可能な限り、上記HP以外で、最新の内容の収集に努めてください。

　【全国法人リストの操作方法】

　　①ページ上部の「企業利益ランキング」をクリック→売上ランキングをクリック

　　②ページ左側の「都道府県別売上ランキング」から派遣元団体を選択

　　③画面右端に表示される売上ランキングの「売上ランキング」をクリック→ランキング表から、社名、業種及び売上額を確認

　※上記サイトなどの確認により、情報が得られない場合は空欄とすること。

・５は、調査団体において産業振興計画を策定していない場合には、産業振興施策について記述すること。計画又は施策は、インターネットや産業振興所管部署への確認等により調べること。

・６は、産業振興に当たり、調査団体の目標となる団体の候補を挙げること。目標団体は、調査団体とは異なる都道府県にあり、産業構造に類似点がある団体の中から、自身が目標と考えるものを挙げること。

（記載例）データ分析演習　事前調査ペーパー

【学籍番号】　　　【所属団体】　　　　　　【氏名】

【調査団体名】（都道府県）●●県　（市区町村）▲▲市

|  |  |
| --- | --- |
| 調査項目 | 調査結果 |
| １　人口 | 418,956人（令和４年２月１日時点） |
| ２　生産（付加価値額）  ※順位は、付加価値額（１人当たり）の全国順位を記載。 | 【第１次産業】　　　67億円（順位1059位）  【第２次産業】　39,015億円（順位20位）  【第３次産業】　10,701億円（順位253位） |
| ３　産業構造  ※中分類の内容を記載。 | 【企業数（企業単位）】  １位　宿泊業、飲食サービス業（1,217社）  ２位　生活関連サービス業、娯楽業（800社）  【従業者数（事業所単位）】  １位　輸送用機械器具製造業（98,849人）  ２位　飲食料品小売業（8,462人）  【売上高（企業単位）】  １位　輸送用機械器具製造業（13,444,432百万円）  ２位　生活関連サービス業、娯楽業（307,076百万円）  【事業所数（事業所単位）】  １位　宿泊業、飲食サービス業（1,663事業所）  ２位　生活関連サービス業、娯楽業（949事業所） |
| ４　売上高ランキング  ※調査団体内の企業について、売上高が大きい順に記載。  ※括弧内には、業種等の事業概要及び売上高を記載。 | （出典：「全国法人リスト」ホームページ）  １位　トヨタ自動車(株)（輸送用機器製造等/30兆2,257億円）  ２位　アイシン高丘(株)（その他製造/1,394億円）  ３位　豊田鉄工(株)（輸送用機器製造/1,368億円）  ４位　大豊工業(株)（輸送用機器製造/1,134億円）  ５位　トヨタ輸送(株)（陸運業・倉庫業/756億円）  ６位　(株)ＦＴＳ（輸送用機器製造/732億円）  ７位　豊生ブレーキ工業(株)（輸送用機器製造/524億円）  ８位　(株)協豊製作所（機械・輸送用機器製造/468億円）  ９位　トヨタＴ＆Ｓ建設株式会社（建設業/427億円）  10位　トリニティ工業株式会社（建設業/354億円） |
| ５　産業振興計画  ※調査団体の産業振興計画について、最新の作成年度・計画のポイント・気付いた点等を自由記述してください。 | ⑴　産業振興計画について  ・作成年度　令和３年度  ・市の産業の中核である自動車関連産業が100年に１度の大変革期を迎えており（2030年代以降のガソリン車販売禁止、CASE、MaaS等）、変化への対応が必要となっている。  ・その他の課題として、ITツール・サービス利用率が半数以下である中小事業者のデジタル化の促進や、全国的に低水準にある子育て世代の女性の就労状況の改善がある。  ・施策の基本方針として、起業・創業促進、ビジネスマッチング等の新産業創出に向けた基盤構築が挙げられている。  ⑵　気付いた点等  ・○○市は、企業城下町として有名であり、同市内の中小企業のデジタル化が進んでいないことは、新たな気付きであった。  ・○○市の産業は、自動車関連産業に大きく偏っているため、同市の産業振興施策は、自動車関連産業を中心として、これとのマッチングに適した産業の育成やマッチング支援、自動車関連企業に対する研究開発への支援を強化する必要があると考える。 |
| ６　目標市区町村（候補） | 三重県鈴鹿市、茨城県日立市 |
| ７　目標市区町村を選んだ理由 | 目標市区町村（候補）は、いずれも大企業が立地し、主要産業が製造業である自治体であり、類似の産業構造を有していることから、調査団体との付加価値額や労働生産性などの比較により、対象市町村の産業を強化すべき点が明らかになると考えたため。 |